

ORANGE pico type E 組立手順

一般的に背の低い部品から先に半田付けした方がやりやすいと言われていますが、ORANGE picoほどの部品から半田付けしても大丈夫です。
 ただし、ICソケットは部品面からテープ(ニチバン 紙粘着テープ 紙バン 9mm幅がおすすめ)などで仮固定しておいてからの方がやりやすいので、最初に半田付けした方が楽でしょう。

部品表

No.	部品コード	部品名	説明
1	IC1	PIC32MX170F256B	半田付け後にIC1ソケットに刺してください。10mmのスペーサーで液晶と重ねるときはソケットを装着しないでPIC32MXを直接半田付けしてください。
2	IC3	低消費電力LDO [ME6209]	基板上の印刷に合わせてください。(基板上はME6209となっておりますが、実際の部品は相当品の7233-Aの場合があります。)
3	IC4	シリアル1ステアC EEPROM 24LC256	半田付け後にIC4ソケットに刺してください。
4		IC1用ソケット(28P)	基板上の印刷に合わせてください。10mmのスペーサーで液晶と重ねるときはソケットを装着しないでPIC32MXを直接半田付けしてください。
5		IC2用ソケット(8P)	基板上の印刷に合わせてください。
6	LED1	抵抗内蔵5mm黄色LED(5V用) OSY5LU5B64A-5V	線が長い方が+です。基板の印に合わせてください。
7	C1	電解コンデンサー10 μ F	線が長い方が+です。基板の印に合わせてください。10mmのスペーサーで液晶と重ねるときは寝かせて装着してください。
8	C2	電解コンデンサー10 μ F	線が長い方が+です。基板の印に合わせてください。10mmのスペーサーで液晶と重ねるときは寝かせて装着してください。
9	C4	積層セラミックコンデンサー0.1 μ F	部品に104と印刷してあるものです。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
10	C6	積層セラミックコンデンサー0.1 μ F	部品に104と印刷してあるものです。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
11	C13	タンタルコンデンサー10 μ F	線が長い方が+です。基板の印に合わせてください。
12	R2	10k	抵抗のカラー帯が茶黒橙金です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
13	R9	4.7k	抵抗のカラー帯が黄紫赤金です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
14	R10	4.7k	抵抗のカラー帯が黄紫赤金です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
15	JP7	ピンヘッダー 6pin	シリアル通信ケーブル接続用です。使用する場合は付属のピンヘッダーを分割してご使用ください。10mmのスペーサーで液晶と重ねるときはL字型を使用してください。
16	JP8	ピンヘッダー 6pin	PICKIT3接続用です。使用する場合は付属のピンヘッダーを分割してご使用ください。10mmのスペーサーで液晶と重ねるときはL字型を使用してください。



※写真のピンヘッダーはL字型ですが、付属品はL字型ではありません。